

第3学年 国語科学習指導案

日時 平成25年 5月31日(金) 4校時
対象 男5名 女10名 計15名
指導者 水賀美 志保

- 1 単元名 読んで、考えたことを発表しよう (光村図書 上)
主教材 「海をかつとばせ」(物語文)

2 単元について

(1) 児童について

児童は今まで物語文の学習で、登場人物に着目した読みを経験している。3年生になり「きつつきの商売」では、時間の経過や周りの様子、登場人物の行動、気持ちの変化から場面を意識しながら読む学習をしてきた。また、説明文の学習で、「問い」「問いに対する答え」「答えをどのように導き出したか」を、「はじめ・中・おわり」の文章構成に着目して読む学習をしてきた。今までの学習を通して、場面の移り変わりや段落に目を向け、叙述を根拠にして正確に読み取る大切さも学んできた。

「イルカのねむり方」や「ありの行列」の学習では、読み取った事柄について考えたことを感想として発表する経験をした。本単元では、この経験の上に立って、読み取ったことを基に、考えを交流することのよさを知り、友達との感じ方の違いに気付かせたい。

児童はこれまで、読み取ったことについて自分の思いを書いたり発表し合ったりしてきた。その際、簡単な文型や話型を提示してそれに沿って書いたり話したりできるようにしてきた。その結果、少しずつ感想のもち方や伝え方が身に付いてきている。しかし、学級の中には「何を」「どのように」書いたり話したりするのか分からない児童も多い。

本単元では、登場人物について読み取ったことについて、その根拠となる行動や会話を活用しながら自分の考えや経験と比べてより具体的に感想をもてるような支援をしていきたい。

(2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、内容(1)には、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」「目的に応じて、いろいろな本を読むこと。」とある。そして、それらについては、「物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。」のような言語活動を通して指導するものとある。

本教材は、野球の特訓を決意した少年が、素振りに訪れた浜辺で小さな男の子に出会い、思わぬ応援を得る物語である。ここでは、場面を時間の順序で5つに分け、その場面での主人公の気持ちを詳しく読み取り、主人公の人となりがよく出ているところを探し、その人物像を明らかにする学習を提示している。「とっくんをする」という決意から、浜辺での特訓、男の子との出会い、男の子との練習、約束と、少年の行動に従って物語は展開しており、少年の気持ちやその変化がつかみやすい作品である。児童は、等身大の少年が主人公のこの物語を、自分に引き寄せながら読み、友達の感じ方との共通点や相違点を見いだすことができる作品である。

本教材では、等身大の人物が主人公の物語だからこそ、児童も感想や考えがもちやすく、その根拠も個々に違ってくるだろう。文章を読んで、読み取ったことについて自分の意見や感想を根拠を明らかにしながら発表し合う活動を通じて、叙述を正確に捉える力をつけさせたい。

(3) つけたい力と読みの方

【場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読む力】

【一人一人の感じ方について違いのあることに気付く力】

単元を貫く言語活動

自分が気に入った本の登場人物の気持ちの変化と人柄をまとめたしおりや下敷きを作る。

○人物の会話や行動、気持ちに着目して読む。

- ・場面の移り変わり
- ・人物の気持ちの変化
- ・自分との対比

本教材では、場面の移り変わりや**主人公に対する自分の考えを発表する**という活動を通して登場人物の性格や気持ちの変化や情景について叙述を基に想像して読み、感じたことや考えたことについて根拠を明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付かせることを目指したい。

そのために、「見通す」段階では、場面設定や登場人物について大まかに捉える活動を通して、会話や行動、心情が現れている言葉等、物語全体を通して主人公「ワタル」の性格や気持ちの変化について叙述に即して読み取るための視点をもたせる。また、単元学習のゴールとして、主人公（ワタル）の気持ちの変化と人柄をまとめたしおりを作ることを告知して、同じくらいの年の子が登場する物語を並行読書させていく。

「深める」段階では、**叙述を基に根拠を明らかにしながら**主人公の性格や気持ちの変化、情景について想像をふくらませながら読み深め、人物像を探り、友達と意見交流をする。その際、**根拠を明確にする話型を活用**しながら、叙述に即し、根拠を明確にして自分の考えを話すという「述べ方」を身に付けさせたい。また教科書 P128 の人柄を表すことばも参考にして語彙を増やしていきたい。

そして「まとめる」段階では、**主人公の気持ちの変化と人柄についてしおりや下敷きにまとめる。**

「広める」段階では、**並行読書してきた物語について、お気に入りの登場人物についてしおりや下敷きにまとめ、紹介する。**その際、発表の内容や方法について予め告知しておく等、発表しやすいようにしていきたい。また、どの児童にも発表の機会を設定することができるように、また自信を持って全体交流できるようにペア交流等活動形態の工夫も図っていきたい。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○ 登場人物について興味をもち、叙述を基にして気持ちの変化、人柄などを読み取ろうとしている。	・ 叙述を基に主人公について読み取ろうとしている。
読む能力	◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。 (読むこと (1) ウ) ◎ 登場人物の性格について考えたことを発表し合うことを通して、一人一人の感じ方について違いのあること	・ 会話や心情表現、行動を表す文・語句に着目し、それから人物の気持ちや人柄がわかることを理解して読んでいる。(読むこと (1) ウ) ・ 感じ方、捉え方についてはお互いに違いがあることに気付いている。(読むこと (1) オ)

	に気づくことができる。 (読むこと (1) オ)	
言語についての知識・理解・技能	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(伝国 (1) イ (ア))	・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(伝国 (1) イ (ア))

4 単元の指導計画と具体的評価規準 (9時間扱い)

段階	時	学習活動	国語への関心 ・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	題名や物語の内容を想像し、全文を読んで学習計画を立てる。	・自分と同じくらいの年の子どもが出てくる本を選び、進んで読もうとしている。 (観察)	・自分と登場人物とを比べながら読み、感想をもっている。 (発言・ノート)	・自分と登場人物とを比べながら読み、感想をもっている。 (発言・ノート)	・新出漢字や意味の分からない言葉について確認する。
深める	2 3 4 5	各場面の登場人物の行動や会話、気持ちを表す文に着目しながら互の気持ちの変化や人柄について読み取る。			・登場人物の行動や会話、気持ちを表す文や語句に着目し、関連づけて読んでいる。 (発言・ワークシート) ・読み取ったことをもとに登場人物の人柄について考えている。 (発言・ワークシート) ・考えたり想像したりした理由を、叙述をもとに説明している。 (発言・ワークシート)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(観察・ノート)
	6 本時	全文を通してワタルの性格について話し合い、人物像をとらえる。			・読み取ったことをもとに登場人物の人柄について考えている。 (発言・ワークシート) ・考えたり想像したりした理由を叙述をもとに説明している。 (発言・ワークシート)	
まとめる	7	自分とワタルを比べ、似ているところや違うところを見つけてしおりや下敷きにまとめ、交流する。		・ワタルと自分を比べながら、視点に沿ってしおりや下敷きを書いている。(しおり・下敷き)		

広める	8 9	お気に入りの登場人物を、しおりや下敷きで紹介する。	・物語の人物と自分とを比べ、考えたことを発表しようとしている。 (発言・観察)	・視点に沿ってしおりや下敷きの文章を書いている。(しおり・下敷き)		
-----	--------	---------------------------	--	-----------------------------------	--	--

5 本時の指導

(1) 目標

読み取ったことを基にワタルの性格について話し合い、人物像をとらえる。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点・具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
読む能力	<p>叙述を根拠に、読み取ったことを関連付けながら物語全体を通してワタルの人物像を捉えている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> <p>(例)</p> <p>ワタルはクビナガリュウガ寝そべっているみたいに見えたから怖がりだけど、がんばり屋。わけは波の子どもたちと練習の約束をしたから。</p>	<p>叙述を根拠に、読み取ったことを関連付けながらワタルの人物像を捉えている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> <p>(例)</p> <p>ワタルはがんばりやの男の子。波の子どもとれん習のやくそくをしたから。秘密の特訓とも書いている。</p>	<p>各場面のワタルの行動や会話を想起させ、ワタルの人物像を考えさせる。</p>

(3) 展開

段階	学 習 活 動 ○発問 ・期待する児童の反応 【指導の視点】	教師の関わり方 ・留意事項 ◎評価
見 通 す 7 分	<p>1 前時までの学習を想起する。 ワタルの状況、一人での特訓、男の子との出会い、男の子との練習、波の子どもとの約束までの行動や会話、気持ちを確認する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。 ワタルはどんな男の子なのかを考えよう。</p> <p>3 読みの視点を確認する。 ・ワタルの行動や会話、気持ちの変化、各場面のワタルの人物像</p>	<p>・掲示物を活用する。</p> <p>◎何をもとにして考えるのかをとらえている。(観察)</p>
深 め	<p>4 課題を解決する。 【ワタルの性格について、物語全体から根拠となる叙述を明らかにしながら自分の考えをもつ。】</p> <p>(1) 叙述を基にワタルの性格について考える。 ○この物語に出てくるワタルはどんな男の子だと思いますか。それは、物語のどの部分から分かりますか。</p> <p>・ワタルは負けず嫌い…なんとかしあいたいと思っている。 ・ワタルはやる気満々…バットをつかんでうちをとび出した。 ・ワタルは恐がり…はまべに打ち上げられた流木がねそべっていた。 大あわてで後ずさりした。</p>	<p>・掲示物「人物を表す言葉」を参考にさせながら考えさせる。</p> <p>・自分が考えた人物像を付箋に書き根拠となる叙述部分に貼る。</p> <p>・自分の考えがなかなか書けない児童に対しては、ワタルの行動や会話を想起さ</p>

<p>る 33 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワタルは勝ち気・・・「だれだ、おまえ。」 ・ワタルはがんばり屋・・・ワタルはもうむちゅうだった。 「ぜったい来るからね。」 ・ワタルは優しい・・・「じゃ、また、練習をてつだってくれるかい。」 <p>【考えを交流しながら、ワタルはどんな人物かについて自分の考えを深める。】</p> <p>(2) ペアで自分の考えを発表し合う。</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワタルは、<input type="text"/> な男の子だと思います。わけは、<input type="text"/> と書いているから <input type="text"/> と思うからです。 ・わたしも <input type="text"/> だと思います。わたしは <input type="text"/> と言っているところからそう思いました。 ・ <input type="text"/> と言っているから（しているから）、ワタルは <input type="text"/> な男の子だと思います。 (やる気満々、恐がり、勝ち気、がんばり屋、優しい・・・) ・ワタルはやる気満々な男の子だと思います。わけは、「絶対来るからね。」と言っているから次も来るんだなと思います。 ・わたしもワタルはやる気満々だと思います。わたしは「ひみつのとっくんをすることにきめた」と書いているところからそう思いました。 ・「だれだ、おまえ。」と言っているから、ワタルは勝ち気な男の子だと思います。 ・むちゅうで練習したからがんばり屋だと思います。 	<p>せ、ワタルの人物像を考えさせる。</p> <p>◎ワタルの人物像が分かる箇所に付箋を貼っている。(教科書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えと自分の考えを比べて聞くことができるようにさせる。 ・話型を提示する。 ・叙述を根拠に発表できるようにする。 ・一人一人の捉えや考え方には違いがあることや、ワタルの人物像は一つに決めつけられないこと、様々な根拠から人物像が予想されることに気づかせていく。 ・友達の考えを自分の考えに付けたしたいときは付箋を貼らせる。 ・理由を述べるときは電子黒板を使い、内容の共有化を図る。 <p>◎自分の考えを発表したり友達の考えと自分の考えを比べて聞いたりすることができたか。 (教科書・発言)</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 ・学習感想を発表する。 <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視点にそって考えることができたか、すばらしいと思った友達の発言などについて振り返らせた。 ・本時の学習の成果について触れる。 ・次時は、今までまとめたことを基にしおりや下敷きを作ることを知らせる。

(4) 板書計画

<p>海をかつとばせ ワタルはどんな男の子なのかを考えよう。</p>	<p>山下 明生</p>
<p>まげずぎらい</p>	<ul style="list-style-type: none">・なんとかしあいに出たい・ひみつのとつくんをすることにきめた
<p>やる気まんまん</p>	<ul style="list-style-type: none">・バットをつかんでうちをとび出した。・足がふらつき、目が回って（もすぶりをつづけている）
<p>こわがり</p>	<ul style="list-style-type: none">・クビナガリユウみたいな流木があるはまべ・こわいのをがまんして
<p>勝ち気</p>	<ul style="list-style-type: none">・「だれだ、おまえ。」・「見りや分かるだろ。すぶりさ。」
<p>がんばり屋</p>	<ul style="list-style-type: none">・さむさで耳がいたいのもクビナガリユウがこわいのもわすれて、むちゆうで練習した。
<p>やさしい</p>	<ul style="list-style-type: none">・「ぜったい来るからね。」・「じゃ、また、練習をてつだつてくれるかい。」
<p>話型</p>	<p>話型</p>